

令和3年度 中学校「学習評価・計画表」 教科【技術】 学年【3年】 担当 長谷川 剛

知 知識・技能  
思 思考・判断・表現  
態 主体的に学習に取り組む態度

月	単元	学習内容	観点	評価規準(B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面 時期
4・5・6月	情報の技術の原理原則	・画像をデジタル化する方法やデータ量との関係についてまとめる。	知	・情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係について理解している。	・情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係についてプラス面、マイナス面も含めて理解している。	定期テスト ワークシート 提出物
			思			
			態			
		・ソフトウェアの機能	知			
			思			
			態	* 図形の保存の方法や印刷方法を手順を追って説明することができる。	* 基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの機能について資料を集め自発的に調べようとしている。	
		・情報の技術に込められた問題解決の工夫について考える。	知			
			思	・身近なシステムや自動化の技術に込められた工夫を読み取り見方考え方方に気づくことができる。	・身近なシステムや自動化の技術に込められた工夫について社会の要求や安全性の観点に関連付けて説明できる。	
			態			
7・8・9月	生物育成の技術による問題解決	・スプラウトの育成を行い、育成環境を調節する技術を体験する。	知	・育成環境を工夫してスプラウトを育成することができる技能を身に付けている。	・市販のスプラウトと比較しながら、育成環境を工夫して目的に合わせたスプラウトを育成することができる。	定期テスト ワークシート 提出物
			思			
			態			
		・作物の成長を管理する技術について調べる。 ・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考える。	知	・作物の成長を管理する技術について理解している。	・育成の目的に合わせた管理技術について理解している。	
			思	・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫を読み取り、技術の見方・考え方方に気付くことができる。	・生活や社会における生物育成の技術を具体的に上げ、主体的に技術を考えようとしている。	
			態			
	材料と加工の技術による問題解決	使用目的に応じた製作品の設計	知			定期テスト ワークシート 提出物
			思	* 金属材料の中から使用方法にあつた最適な材料を選ぶことができる	* 使用目的にあわせて、各部品に適した材料を比較検討し、選択することができる。	
			態			
		材料に適した加工技術	知	* 金属加工用工具について基礎的・基本的な使い方を覚えて加工することができる。	* 製作に必要と思われる工具や機器を用いた加工の実験や試行体験を通じて正確に作業することができる。	
			思	* 製作に必要な加工技術に関心を示し、教室に用意された工具を調べようとしている。	* 製作に使用する工具及び機器を選択し、材料と関連づけて適切な使用方法を調べようとしている。	